



# カムくん通信



ホームページ↓

美々津小学校だより

3月号①

令和7年3月4日

文責：校長 小野原

仲良し 協力 思いやり 希望あふれる 美々津小

## お別れ遠足がありました！

3月に入り、本年度もいよいよラストスパートです。

さて、先週はお別れ遠足がありました。あいにくの雨のため、校内遠足になりましたが、子どもたちは全校で学級で異学年で、遊んだり、ゲームしたり、お弁当を食べたりと、楽しく活動していました。6年生にとっても小学校生活最後の遠足の思い出ができることだと思います。

これからも心配な点などありましたら、遠慮なく学校へお知らせください。最後までどうぞよろしくお願ひします。



## 全校集会の話

今日のテーマは『ちょっと上をめざそう』です。

全ての教室で、今、まとめのテストなどが行われていると思います。

「やったー、100点だ！」とか「わたしは80点だったー」とか、お話をした人もいるかもしれません。

人と比べると、「自分はいいところが何もない」と勘違いしてしまうことがあります。そんな人に言います。

成長の順番は、人それぞれです。「からだ」が早く成長する人がいます。「あたま」で考えることが得意な人がいます。「こころ」は少しづつ自分で育っていくものです。

どこから水をやるかは、人それぞれです。どのコップが早くいっぱいになるかも、人それぞれです。

だから、人と比べるのではなく、今までの自分と比べましょう。

「漢字がたくさん書けるようになった」「字がたくさんある本が読めるようになった」「逆上がりができるようになった」「困っている人に気づけるようになった」「嫌なことがあっても泣かなくなった」「気に入らないことがあってもすねなくなった」などいろいろあると思います。

今の学年もあと1か月です。あせらず、あきらめず、  
今の自分のちょっと上を目指して努力しましょう。



## 日向・入郷エリアコーディネーターだよりから

このたよりは、特別支援教育関係の先生が定期的に出されているものですが、私たちだけでとどめておくのはもったいないと思い、今回紹介させていただきます。

子どものぼやき、不平、不満、よくない行動に対して、感情的に反応していませんか？ あなたの声のかけ方が変われば子どもが前向きになったり、本音を伝えてくれたりするかも・・・。

### 子どもを前向きにする「証拠だね言葉」

- 「つかれた～」 → 「がんばった証拠だね」
- 「緊張する～」 → 「本気の証拠だね」
- 「悔しい…」 → 「全力で取り組んだ証拠だね」
- 「不安だ…」 → 「立ち向かっている証拠だね」
- 「失敗した…」 → 「挑戦した証拠だね」



### 責めずに 子どもの本音を引き出せる「教えて言葉」

- 「何で分からないの！」 → 「どこまでわかったか教えて？」
- 「またそんなことして！」 → 「何がしたかったのか教えて？」
- 「「何、その態度は？」 → 「何が不満なのか教えて？」
- 「言うことをききなさい！」 → 「あなたの考えを教えて？」